

特別講演

9 : 40～11 : 10

大講堂

司会：上岡 克好（新小山市民病院）

○エビデンスに基づく作業や目標設定（初回面接・評価）

東京工科大学 医療保健学部作業療法学科

友利 幸之介

ワークショップ1（身体）

14：10～15：40

大講堂

- 友志会における地域包括ケアシステムへの取り組み

講師：砂川 剛（リハビリテーション花の舎病院）

ワークショップ2（精神）

14：10～15：40

第2・3研修室

- 聞きたい、知りたい、活かしたい！隣の施設のOTの役割・働き方

ファシリテーター：渡邊 厚司（マロニエ医療福祉専門学校）

メッセンジャー：松坂 伸行（青木病院）

藤田 億（青木病院 さくら通りクリニック）

黛 浩介（朝日病院）

成塚 陽太（足利赤十字病院）

須藤 智宏（小山富士見台病院）

ワークショップ3（発達）

14：10～15：40

中講堂

- 発達障害を持つお子さんの家族支援・子育て支援

講師：大島 弘子（独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター）

一般演題 1 (口述発表)

会場：大講堂

11:30～12:30

【座長】：佐々木忠啓(上都賀総合病院)

○-1-1 若年脊髄損傷者に対する Cognitive Occupational Therapy
～歩行へのこだわりと行動変容～

足利赤十字病院

金子 祐大

○-1-2 変形性肩関節症に対する、人工肩関節置換術施行後に剣道が再開できた症例
とちぎメディカルセンターしもつが

熊田 燎

○-1-3 慢性期脳卒中弛緩性片麻痺患者の肩関節亜脱臼に対する
上肢懸垂用肩関節装具の導入経験

獨協医科大学日光医療センター

鎌田 春香

○-1-4 甲状腺クリーゼにより脳梗塞・ミオパチーをきたし、
四肢麻痺を呈した症例に対する片麻痺上肢用装具作製の試み

足利赤十字病院

松村 ひかる

○-1-5 復職支援に難渋した若年脳卒中患者

足利赤十字病院

青木 聖里菜

一般演題 2 (口述発表)

会場：中講堂

11：30～12：30

【座長】：渡邊真一(白澤病院)

- 2-1 その人らしさを取り戻すための支援
～急性期で設定した生活行為目標の達成を目指して～
日光野口病院 照井 一史
- 2-2 心身ともに安定した生活を取り戻すまで
～CCAS 診断後の多職種でのチームアプローチと意味のある作業提供の効果～
日光野口病院 大田原 のぞみ
- 2-3 急性期における多職種協働により身体拘束の解除につながった症例
獨協医科大学日光医療センター 飯塚 裕介
- 2-4 地域在住高齢者における趣味、運動習慣が作業機能障害に与える影響
獨協医科大学日光医療センター 須藤 誠
- 2-5 学童保育訪問事業における作業療法士の役割
～学童保育の現状について～
自治医科大学附属病院 黒淵 永寿

一般演題3 (ポスター発表)

会場：大会議室

13:30～14:00

- P-1 手根管症候群患者における定量化された SWT スコアと VAS スコアの関係について
医療法人社団友志会石橋総合病院 清永 健治
- P-2 肺移植待機中、間質性肺炎急性増悪を呈した事例への作業療法
自治医科大学附属病院 岡田 唯
- P-3 「する ADL」の実現に向けた急性期病院における作業療法士の直接的・間接的介入
上都賀総合病院 佐々木 忠啓
- P-4 当院における緩和ケア病棟でのリハビリテーション実施状況について
地方独立行政法人栃木県立がんセンター 伊藤 貴子
- P-5 病識の乏しい頸髄症患者に対する転倒予防へのチームアプローチ
自治医科大学附属病院 橋本 尚樹
- P-6 作業形態に着目したことで活動する動機づけが高まった事例
～過去に経験した作業を通して～
栃木県医師会塩原温泉病院リハビリテーションセンター 田代 涼
- P-7 脳卒中急性期重度上肢麻痺を呈した事例への作業療法介入
-ミラーセラピー, 電気刺激療法併用の効果-
自治医科大学附属病院 村上 知征
- P-8 高齢者の持つ主観的健康感
～健康高齢者の語りに対する質的分析から～
マロニエ医療福祉専門学校 林 訓志
- P-9 介護療養型医療施設における尊厳を守ることへの包括的介入
医療法人社団たかはら会尾形医院 久米 真菜美
- P-10 活動性が低下している患者様へのアプローチ
～園芸活動を介した関わりを通して～
医療法人社団緑会佐藤病院 梶原 龍之介
- P-11 リハビリテーション職種の働き方に対する一考察
～残業の在り方に対する当院の取り組みについて～
上都賀総合病院 河内 朋恵